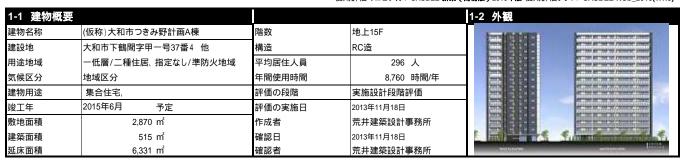
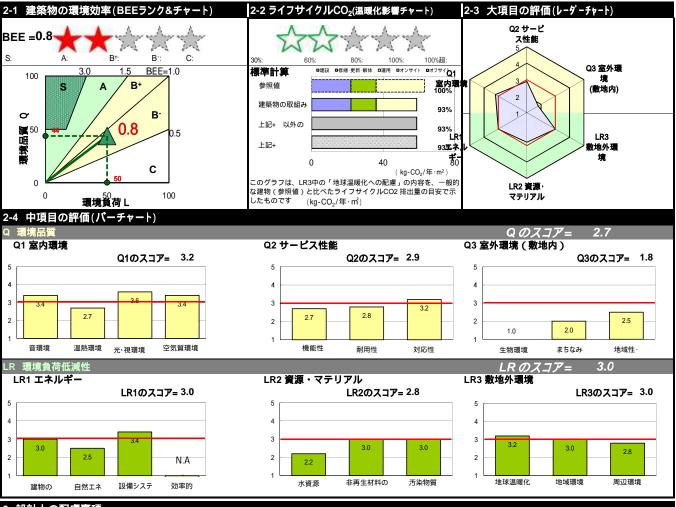


使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.8)





建物の 自然エネ 設備システ 効率的	水資源 非再生材料の 汚染物質	1 地球温暖化 地域環境 周辺環境
3 設計上の配慮事項 総合 敷地が住宅街に位置するため、周囲の景観を積なうことなく、極力に	下泊成のヒラマーレの無いトン和彦! 社画レーた	その他
就心が住宅は に世直するに切、 向西の宗教を頂なりことなく、 控力に	ILU窓の与んなことの無いより心感しii 回とした。	U .
性に配慮した。外皮性能については日本住宅性能表示基準「省IAN ギー対策等級」における等級3に相当する性能とし、建物の熱負荷抑制に配慮した。	建築物移動等円滑化基準を満たすように計画し、パリアフ リーに配慮し計画した。	Q3 室外環境(敷地内) 周囲の景観を著しく損なうことのないよう配慮し、敷地の空地には可能な限り緑化をした。また、共用部のラウンジコーナーから一体の空間となるように植栽を設け、建物内外を連動させる、豊かな中間領域の形成を行った。
LR1 エネルギー 住戸の断熱材について、日本住宅性能表示基準「5 - 1省エネル ギー対策等級」における等級3に相当する仕様として、建物の熱負 荷抑制に配慮した。	LR2 資源・マテリアル 躯体と仕上げ材が容易に分別可能となっている。内装と設 備が錯綜せず、解体・改修・更新の際に、容易にそれぞれ を取り外すことができる。	

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率) 「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと 評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される